



双塔

カトリック新潟教会

2020年5月
No. 384

ご復活おめでとうございます

主任司祭 ラウール・バラデス

現在、世界中の各地域にまで感染が広まったことをニュースなどで見ると大変心が痛みます。亡くなられた方々、感染された方々のことを思うと胸が痛み、この事態が一日でも早く収まるように祈っています。

このパンデミックの中において、キリスト者としてわたしたちはどう考えたら良いのでしょうか。ほとんど監禁に近い今のこの状態の中であって、わたしが思ったことを皆さんと分かち合いたいと思い、巻頭言を書いています。

「祈りと希望」—— 世界と社会が味わっている恐怖と不安をしっかりと受け止めて、感染拡大防止を目的にした行政の指導に協力しながらも、わたしたちが目の前にある暗闇に留まらず、先にある光を目指して暮らすように招かれていると思います。わたしたちはすべての人の苦しみを祈りに変えて、神様に捧げるという使命に与っているのです。祈りを通して希望を学び、それによって力づけられます。

『だれもわたしに耳を貸さないときにも、
神はわたしに耳を傾けてくださいます。
だれとも話すことができず、
だれにも呼びかけることもできないときにさえ、
わたしはいつも神に語りかけることができます。』

だれもわたしを助けてくれないときも、
神はわたしを助けてくださいます。
わたしが絶望的な孤独のうちに追いやられても…
もし祈るならば、
わたしは決して独りではありません。』
(故グエン・ヴァン・トゥアン枢機卿)

獄中で十三年間を過ごされた枢機卿は、祈りを通して希望を学び、それによって力づけられました。



「命からいのちへ」—— 自分がいつか感染するかと不安を抱えながら、生と死について考えさせられます。今のこの命がすべてであるならば、誰もが失望し、恐怖のあまり心が麻痺して、生活ができない状態にまで陥るかもしれません。確かに、わたしたちは永遠の「いのち」の恵みを頂いています。ですが、今はまだ不完全な私たちでそれを体験しているのです。葬儀ミサで唱えるように「信じ

る者にとって、死は滅びではなく、新たないのちへの門であり、地上の生活を終えた後も、天に永遠の住みかが備えられています。」これは、地上の命を諦めるためではなく、むしろいっそう力強く生き、希望と喜びをもって天国に向かって生きようになるためです。

「清めと愛」—— 人間は偉大なものでありながらも、非常に弱い存在です。このパンデミックはそれを示しました。現在、最も大切なものとは一体何かと考えさせてくれます。わたしたちが体験する、試練と苦しみには意外な側面があります。それは、わたしたちの心を神のほうに向かわせることです。こうして、わたしたちの内面は欲望から清められ、神に対して開かれる一方で、同時に他の人に対しても開かれた者となっていくのです。神のやさしさといつくしみを受け入れた人こそ、他の人のために生きようになるのです。

「マリアと復活」—— 聖マリアよ、十字架のもとで、イエスのことばによって、あなたは信じる者の母となりました。信仰によって、あなたは聖土曜日の暗闇のなかでも確かな希望を抱きました。この信仰のうちに、あなたは復活の朝に向けて歩みました。復活の喜びはあなたの心をとらえ、新たな形であなたを弟子たちと結びつけました。弟子たちは、信仰によってイエスの家族となるように定められていたからです。

わたしたちの母である聖マリア、あなたとともに信じ、希望し、愛することをわたしたちに教えてください。み国に至る道をわたしたちに示してください。海の星よ、わたしたちを照らし、旅路を歩むわたしたちを導いてください。

「希望による救い」より



復活祭のメッセージ

協力司祭 ホセ・ルイス・ロレンソ

復活祭の典礼の始まりは復活のろうそくに火をつけることです。真っ暗な聖堂でその小さな光は輝いてきます。そして、そのろうそくから私たちの持っているろうそくにも火をつけて、聖堂全体は明るくなります。キリストの光で罪の暗闇は消えていく、というしるしです。これは希望を与える大きな出来事です。苦しみには終わりがあって、悲しみのあとは喜びがあります。この「希望」のメッセージはとくに現在の全世界には大事な言葉だと思います。何よりも、私たちは希望を失わないで、頑張らなければなりません。ミサができない中で、祈りの生活を忘れずに、自分の信仰をこれからも守っていきましょう。自分たちの命を大事にしながらも、こ

の感染症と戦っている人々のためにもお祈りいたしましょう。病人や死者のことはもちろんですが、医療関係者の皆さんのためにも祈りは必要と思います。患者さんたちの治療をしながら、多くの医者や看護師たちはなくなっていることは忘れてはいけません。それに、イタリアには亡くなった司祭たちも少なくないです。彼らのためにも、祈りを捧げていただきたいです。

これからも、神様の数々のおん恵みが皆さんにありますように、お祈りいたします。イエスのご復活おめでとうございます！



左右写真はともに復活徹夜祭より

■復活の主日以降の新潟教会の対応について

新型コロナウイルスの感染防止対応につき、主日のミサに与かることが免除される状況に変わりはなく、当面の間、ミサの規模にかかわらずすべて原則として「非公開」とします。

以下の通り希望者にはご聖体を授けますので、司祭館までお越し下さい。

ご聖体拝領できる時間帯

平日： 午前9時～12時

日曜： 午前9時～12時

司祭館までお越し下さい。

<その他連絡事項>

- ・教会維持費については、司祭館でお預かりします。
- ・個人で聖堂で祈りを捧げることは可能です。

※聖堂に入る際は、設置しているアルコール消毒液で手指の消毒をしてください。

他の人との距離を充分取ってください。

■センター2階和室エアコンについて

- ・壁掛け型を採用、¥393,800で（株）ミタカに発注、納期等は未定。
- ・ホール設置についてはアンケート結果待ち（4/19〆切）。

2020年5月の予定

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
3日(日)	復活節第4主日 世界召命祈願の日	※すべての予定は新型コロナウイルス 対応により中止、未定となっています。
10日(日)	復活節第5主日	
17日(日)	復活節第6主日 世界広報の日	
24日(日)	主の昇天(祭日)	
31日(日)	聖霊降臨の主日(祭日)	

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間：主日日曜日（7：00 9：30 18：00） 英語ミサ（第1日曜日 12：00）
週日（7：00、金曜日のみ10：00）

■カトリック新潟教会のホームページをご活用ください

カトリック新潟教会のホームページができました。

教会の内部の画像やステンドグラスの紹介、過去の双塔の一部をご覧になれます。美しい画像の数々が掲載されています。

また、教会のお知らせも随時掲載していく予定です。教会になかなか足を運べない今、ぜひご活用ください。

アドレス



<http://nc.catholic-niigata.net/>

トップ画面は数種類。その時々で画像が変わります。パソコンでもスマートフォンでもお楽しみいただけます。（左はスマートフォン版、右はパソコン版）